# KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION 2017



京都教育大学 概要2017

#### 目 次

シンボルマーク・マスコットキャラクター	1
学長メッセージ	2
目 的	3
アドミッション・ポリシー	3
カリキュラム・ポリシー	4
ディプロマ・ポリシー	4
機構図	5
教職員数	6
課 程	7
学生数	8
平成29年度入学者選抜実施状況	9
卒業者数及び修了者数	10
学部卒業者の就職状況	11
奨学生数及び貸与状況	12
国際交流	13
厚生施設	14
研究施設等	15
附属学校園	17
地域貢献	19
平成28年度財務状況	20
役職員	23
沿革	24
沿革略図	25
施設配置	27
アクセスマップ	29
所在地	30

#### シンボルマーク・マスコットキャラクター

## A シンボルマーク



京都(kyoto)と教育(kyoiku)のkを、樹木をかたどってデザインしたもので、本学の自然あふれるキャンパスを表しています。教養高き人としての確かな知識を幹とし、豊かな情操を表す曲線で囲まれた葉を生い茂らせ、未来を切り拓く積極的な態度をもってたくましく成長し続けるという学びの姿をイメージしています。

ユニバーシティーカラー(KUE Purple)に用いられている紫色は、古来、位の高い貴族が着用した色ですが、現在大学がある藤森の地名だけでなく、本学の前身である師範学校の学生寮(京都府師範学校「紫郊寮」、京都府女子師範学校「露草寮」)の名前とも縁の深い色です。

伝統に根ざした本学の誇りを象徴しています。

## B マスコットキャラクター



そったくん

漢籍に基づく禅の教えに、「啐啄同時(そったくどうじ)」という言葉があります。これは、鳥の卵が孵(かえ)ろうとする時、雛(ひな)鳥が内側から出ようとして殻を吸うと、これに応じて母鳥が外側から殻をつついて出るべき場所を教え、「啐(そつ)」(殻を吸う)と「啄(たく)」(殻をつつく)とが完全に一致した時に、雛が無事に孵ることができることを意味します。雛鳥が外に出ようと殻を吸う瞬間に母鳥が外からつつくことが大切なことから、教育全般のありかたについての教えにもなっており、本学学長室にはその書(山内得立第2代学長の揮毫)が掲げられています。

「そったくん」は、教育者養成を目的とする京都教育 大学を象徴化しています。

デザイン:1983年度卒業生 植原 幸治

## ∞学長メッセージ∞



## 深い学問的知識と優れた教育実践力とを兼ね備えた 「学び続ける教員」の養成と支援を目指して

#### これまでのあゆみ

京都教育大学は、旧制の高等教育機関であった京都府師範学校(明治9年(1876年)創立)に、その歴史をさかのぼることができます。昭和24年(1949年)には「国立学校設置法」が公布され、京都師範学校と京都青年師範学校を包括して新制大学を設置することとなり、京都学芸大学として発足しました。昭和41年には「国立学校設置法」の一部改正により京都教育大学と名称を改め、平成16年4月国立大学法人京都教育大学が設立され現在に至っています。

#### 学 長 細川 友秀

#### 第3期中期目標期間のビジョン

国立大学法人化後13年が経過し、平成28年度からの第3期中期目標期間も2年目に入りました。本学は歴史と伝統文化と大学のまち京都にあって、教職員一人ひとりが教育に関わ

る仕事に従事することに自信と誇りをもち、一致協力して教員の養成・支援の目的に向かいます。そして、深い学問的知識と優れた教育実践力を兼ね備えた学校教育教員を養成するとともに、自然や社会の真理の解明、文化を対象とする基礎研究とその成果を教育に活かすための研究を推進することによって、教育と研究に力を注ぐ個性輝く教育大学を目指します。

#### 教育・研究

本学は、教育学部、大学院の教育学研究科と連合教職実践研究科、特別支援教育特別専攻科及び附属教育実践センター機構などの教育研究組織・施設を有し、附属の幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校(附属京都小中学校が 10 年以上に及ぶ小中一貫校としての実践的研究の実績によって、文部科学省から国立大学の附属学校として全国初の義務教育学校として平成29 年 4 月に認可された)・高等学校・特別支援学校を設置しています。大学教員の専門は人文科学、社会科学、自然科学、芸術、スポーツ等の分野にわたります。そのため、本学で学ぶみなさんは教科や教職の専門教育・研究指導を幅広い分野で選択でき、義務教育学校を含む附属学校園ですべての学校種の教育実践と研究指導を受けることができます。

教育学部では実践的指導力の向上を重視し、例えば、「公立学校等訪問研究」、「附属学校参加研究」、「教育実習」、「学校インターンシップ研修」・「教職課題研究実地演習」等の実地教育科目を系統的に配置し、附属学校園や公立学校等での実践的な授業と大学での講義・演習をあわせて、実践と理論の両面から主体的に学ぶことができます。特に、実践的指導力向上を目指す「6年制教員養成高度化コース」では、教育学部と大学院教育学研究科を接続して学部3回生の段階から教育学研究科への進学を見通して組織的・体系的に学び、課題意識や問題意識をもち主体的に学修に臨むことができます。

教育学研究科では、専門分野の知識と理論の理解を深め、教育現場での実践を踏まえて高度な教育関係諸科学を学び、課題研究に取り組みます。特に、研究科共通科目である「教員インターン実習」と「教職実践研究」は、各自の課題を持って学校で教育実践活動を行い、その事前・事後指導と実習結果について討論・考察する授業で、実践的な指導力を育成するために設置しています。これらの授業は、様々な教科と学校種を志望する大学院生が一緒に受講し、各自の課題を出し合い実践知を交換しつつ討論・考察する、先進的な授業であり、教育学部と接続する「6年制教員養成高度化コース」では必修科目としています。

連合教職実践研究科では、「授業力高度化」、「生徒指導力高度化」、「学校経営力高度化」の3コースを設置し、教職の専門性を高めるため、大学での学びと連携協力校と附属学校を学びのフィールドとして理論と実践の融合を図るカリキュラムを準備しています。そして、実践的な指導力と、新しい学校づくりの有力な一員となり得る資質を育成し、高度専門職業人として学び続ける教員、スクールリーダー・指導的教員や学校管理職として活躍する教員の養成を目指しています。

#### 地域社会及び他大学等との連携

京都は多様な大学を擁し、全国、世界から様々な学生が集まります。各大学は、それぞれの目的や建学の精神をもって教育・研究に励み、大学相互の連携を推進し、教育・研究の向上と地域への一層の貢献に取り組んできています。本学の連合教職実践研究科は、このような京都の「大学連携の文化」を土壌として、本学が基幹大学となり京都の7私立大学と連合し、京都府・市教育委員会との連携・協力のもと、全国初の大学連合教職大学院として平成20年度に設立されました。設立以来、着実に実績を積み重ね、京都・近畿地域を中心に全国に修了生を送り出してきています。

さらに、本学は大阪教育大学、奈良教育大学と協同で、平成22年度から「京阪奈三教育大学連携推進協議会」を設置し、教育・学生支援、大学改革・教員養成機能強化等において連携協力を進めています。特に、平成24年度からは国立大学改革強化推進補助金を受けて、中央教育審議会が提起する「教員養成の高度化と教職生活全体を通じた学びを継続的に支援するシステム」を近畿圏においてモデル構築することを目指し、平成25年度には各大学に「教員養成高度化連携拠点」を共同設置し、「『学び続ける教員』のための教員養成・研修高度化事業」に取り組んでいます。

創立以来 140 年余、本学は多くの優れた教員を輩出し、日本の、とりわけ京都における教育に大きく貢献してきています。 これからも、京都における義務教育に関わる教員養成の中心的役割を果たしつつ、教育現場における今日的課題に関する研究 や現職教員を支援する先進的研修などの研究開発に取り組み、地域の教員養成・研修の高度化において中心的役割を担います。

## ∞目 的∞

#### 1. 本学の目的

京都教育大学は、学芸についての深い研究と指導とをなし、教養高き人としての知識、情操、態度を養い、併せて教育者として必要な能力を得させることを目的とする。

#### Ⅱ. 本学の教育目的

1. 教育学部の教育目的

教養高き人としての知識、情操、態度を育成し、学校教育、社会教育、生涯学習等の広い教育分野で地域社会に貢献で きる人材を養成することを目指す。

2. 大学院教育学研究科の教育目的

京都教育大学大学院教育学研究科は、学部における教養あるいは教職経験の上に、広い視野に立って精深な学識を授け教育関係諸科学の研究を深めることにより、教育の理論と実践に関する優れた能力を有する教育者の養成を目的とする。

3. 大学院連合教職実践研究科の教育目的

京都教育大学大学院連合教職実践研究科は、学部における教員養成教育と現職教員の教職経験の上に、教育の理論と教職実践を深く追究させることにより、教職に関する高度専門的な知識と実践的指導力を統合的に有する教員の養成を目的とする。

4. 特別支援教育特別専攻科の教育目的

京都教育大学特別支援教育特別専攻科は、主として現職教員を対象とし、精深な程度において発達障害学に関する専門の事項を教授し、その研究を指導して、資質の向上を計ることを目的とする。

#### Ⅲ. 本学の研究目的

京都教育大学は、「人を育てる知の創造と実践を担う大学」である。教育学部を擁する単科大学として、深い研究を通した質の高い教育を為すとともに、教育に関する新しい知の創造と実践によって地域及び国際社会に貢献し、併せて責任と使命を自覚した実践力のある教員及び広く教育に携わる専門家を養成することをめざす。そのため、本学は、科学・芸術・スポーツなどの広い学芸を対象として、知を生み出す基礎研究、その成果を教育に活かす応用研究、さらに教育の場につなげる実践研究などの学術研究を推進することを目的とする。

## ∞ アドミッション・ポリシー ∞

#### 教育学部

京都教育大学は教員養成大学として以下のような皆さんの入学を期待しています。

- 1. 倫理観と人権意識の大切さを認識し、将来は教師として地域や社会に貢献しようとする情熱と志を持つ人。
- 2. 子どもの成長に関わることに喜びを感じ、子どもを理解するために、教職に必要な知識や技能を身につける努力を惜しまない人。
- 3. 幅広い分野の知識・技能を持つとともに、志望する専攻領域と関連の深い教科に関して確かな学力や実技能力を有し、課題を深く思考できる人。
- 4. 教育の基礎となるさまざまな科学、文化、芸術、スポーツなどに関心を持って、広い視野で思考し、表現しようとする人。
- 5. 友人や周りの人たちと協働して学んでいく主体性と協調性を備えている人。

#### 大学院教育学研究科

本学教育学研究科は、教科及び現代の教育の諸問題を探究するに足る高度な専門性と分析力を養い、学校教育における確かな実践力を培います。なかでも現職教員には、新たな知識と視野を与え、現場での指導力を高めることを、大切な方針として掲げています。本研究科では、それに相応しい意欲と資質を備えた人材を広く求めます。

また、外国人留学生については、いずれの国においてであれ、学校教育に関わることに強い意欲を持ち、自国では修得しがたい専門的視野や知識、教育方法を身につけようとする人材を積極的に受け入れます。

#### 大学院連合教職実践研究科

以下のような方の入学を期待しています。

- 1. 教職に強い関心をもち、教育について思考し、学校づくりの一員として将来活躍しようとする者
- 2. 実践的な指導や授業を展開する前提となる、基礎的な知識・技能を身につけている者
- 3. 自らの置かれた状況を客観的に判断して、周りの人たちと協働して主体的に課題を解決しようとする者
- 4. 教師として社会に貢献しようとする責任感と使命感をもち、教育の場で中核を担い得る者

#### 特別支援教育特別専攻科

本学特別支援教育特別専攻科は、特別支援教育に情熱を持つ者、専門的な研究と教育実践力を修得する意欲を有する者を 積極的に受け入れます。

## ∞ カリキュラム・ポリシー ∞

#### ●教育学部カリキュラム・ポリシー

本学教育学部は、教員養成大学としての使命と教育目的等に沿った以下の資質・能力を積極的に培うことを目指して、教 育課程を編成・実施します。

- 1. 教職科目、実地教育科目などを初年次から系統的に履修することで、教師として備えるべき倫理観、規範意識、人権意 識を身につける。
- 2. 教職科目、実地教育科目などを履修して、教職に必要な知識や技能を実践的に学び、子どもを理解する力、生徒指導の ための知識・技能、子どもの成長・発達についての理解を深める。
- 3. 卒業論文及び専攻専門科目を履修することで、専門的な知識・技能を修得し、自らの関心や問題意識にもとづいて思考 し探究する姿勢を身につけるとともに、教職科目・実地教育科目を履修することで、教育実践へ展開できる力を培う。
- 4. 基礎科目、教養科目などを履修することで、思考・判断の基礎となる教養と感受性を培い、思考し表現する力を養う。 5. 教養科目、実地教育科目などを履修することで、豊かな人間性と社会性、常識と教養、コミュニケーション力などを身 につけ、主体的に協働できる力を養成する。

#### ●教育学研究科カリキュラム・ポリシー

教育学研究科では、教育に関する広い視野と深い専門的な学識の上に、教育の理論と実践に関する優れた能力・力量をそ なえた教育者を養成するために、以下の科目群により教育課程を編成しています。

- 1. 現代の多様な教育的諸課題を理解し、それらの諸課題に対応する力をえるための科目群
- 2. 各分野の専門的な研究を深めるための科目群
- 3. 教育に関する理論と教育実践とを架橋するための科目群
- 4. 教員としての教育実践力を高めるための科目群
- 5.1~4を集大成して、主体的な研究力や課題探究能力を備えた実践的な教育力の獲得をはかるための課題研究及び修士 論文

#### ●連合教職実践研究科カリキュラム・ポリシー

連合教職実践研究科では、教育の理論と教職の実践との架橋を通じて、教職に関する高度な専門的知識と実践的指導力を 統合的に有する教員を養成するために、以下の科目群による教育課程を編成しています。

- 1. 教職について体系的・総合的に思考・判断する力を育成するために、共通必修科目として置かれる5領域10科目から なる「教職コア科目」群
- 2. 個々の課題意識をさらに深め、幅広い専門的知識に裏付けられた高い実践力を育成するために、選択科目として置かれ る「専門科目」群
- 3. 学修の成果をまとめる力、教職専門職業人に求められる思考力、人間関係構築能力、組織運営能力等を育成するために、 各コースの必修科目として置かれる「実践研究科目」群
- 4. 学校での実務的経験を通して教職の実際について理解を深めることで、教師に必要な人間性や社会性を養うとともに、 倫理観を涵養するために、1年次と2年次とに分けて置かれる「実習科目」群

## ∞ ディプロマ・ポリシー ∞

#### ●教育学部ディプロマ・ポリシー

京都教育大学は、「人を育てる知の創造と実践を担う大学」として、不断の研究を基盤とした質の高い教育を通じて、責 任と使命を自覚した実践力のある教員を養成し、教育に関する新しい知の創造と実践によって地域及び国際社会に貢献しま す。本学教育学部は、教員養成大学としての使命にしたがって、所定の単位を修得し、教師となるにふさわしい以下の要件 を満たす者に学士の学位を授与します。

- 1. 教師としての使命感、情熱、倫理観や人権意識を持ち、常に学び続ける強い意欲を有している。
- 2. 教育や教職に関わるさまざまな知識や技能を有し、子どもの特性や心身の状況を理解して、誠実に子どもと関わること ができる。
- 3. 教科等に関する専門分野において高い知識・技能を修めるとともに、新たな学びを展開できる実践的指導力を有し、自 らの関心や問題意識にもとづいて思考し、探究できる。
- 4. 深い教養や豊かな感受性にもとづいて、思考・判断・表現することができる。
- 5. 豊かな人間性や社会性、常識と教養、コミュニケーション力などを有し、地域社会や同僚などと主体的に協働して、新 たな課題に対応できる。

#### ●教育学研究科ディプロマ・ポリシー

教育学研究科では、教育に関する広い視野と深い専門的な学識を身につけ、教育の理論と実践に関する優れた能力・力量 をそなえた教育者となるために、以下の能力を修得することを修了認定の基準とします。

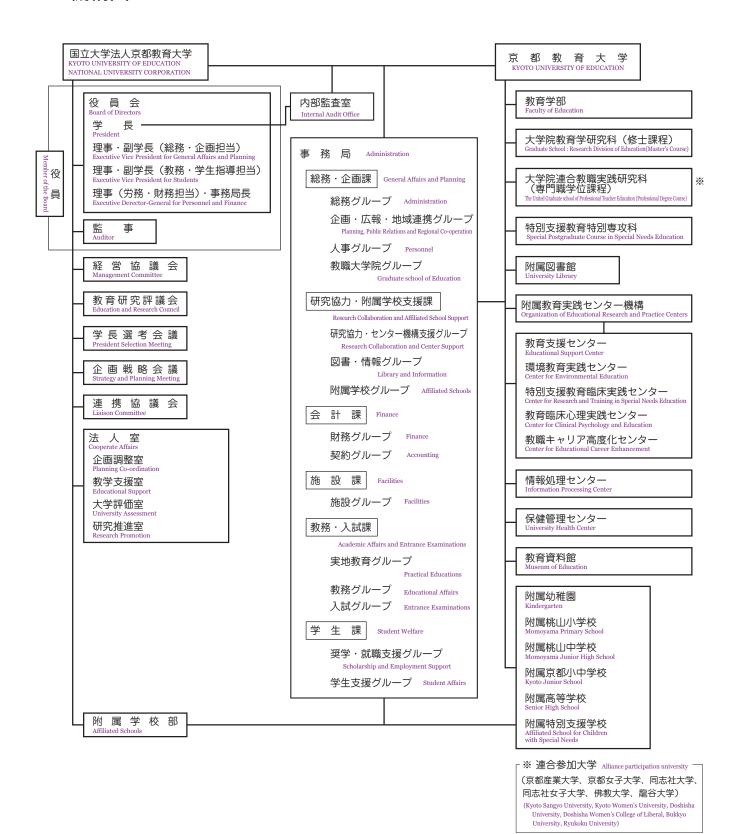
- 1. 現代の多様な教育的諸問題を理解し、対応する力
- 2. 深い専門的な学識に裏打ちされた教育実践力
- 3. 主体的に研究や課題探究に取り組み、継続的に自己研鑽をはかる力

#### ●連合教職実践研究科ディプロマ・ポリシー

連合教職実践研究科では、教育の理論と教職の実践との架橋を通じて、教職に関する高度な専門的知識と実践的指導力を 統合的に有する教員となるために、以下の能力を修得することを修了認定の基準とします。

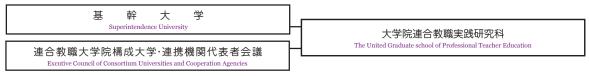
- 1. 教師として教育の現状や課題を多様な文脈から読み解く力と今後のあり方を構想する力
- 2. 教職に関する高度な専門的知見に基盤をおいた実践的指導力
- 3. 自己の職能を向上させるための実践に基盤をおいた自己省察力と研究開発力及び組織運営能力
- 4. 豊かな人間性、社会性と高い職業倫理にねざした職務遂行力

## ∞ 機構図 ∞



#### ※大学院連合教職実践研究科組織図

United Graduate School of Professional Teacher Education Structural Diagram



# ∞ 教職員数 ∞

(H29.5.1)

区 分	教 授	准教授	講師	助教	助手	事務職員等	教諭	合 計
事務局						⟨4⟩		⟨4⟩
, s						80		80
						⟨1⟩		⟨1⟩
内 部 監 査 室						1		1
教育 学 部	{1} 52	38	6					{1} 96
大学院連合教職実践研究科	【16】 〔2〕 6	[8] 2						[24] (2) 8
教育支援センター	3	2						5
環境教育実践センター	1					1		2
特別支援教育臨床実践センター	1							1
教育臨床心理実践センター	1							1
	《2》							《2》
教職キャリア高度化センター	3							3
保健管理センター	1							1
合 計	{1} 【16】 〔2〕 《2》	[8]				⟨5⟩		⟨5⟩ {1} <b>[24]</b> (2) <b>《</b> 2⟩
	68	42	6			82		198

- 注:〈 〉は再雇用数で内数。{ } は特定教員数で内数。《 》は教職キャリア高度化センター特任教員で内数。
  - 【 】は大学院連合教職実践研究科における教員の総数(連合参加大学、京都府教育委員会、京都市教育委員会からの教員、高度化特任含む)。
  - しまたでは、 
    しまれる 
    しまれ
- ※上記職員数には、休職・育児休業・長期研修中の者を含む。また、事務局の事務職員等については附属学校を勤務地とする者も含む。

	区	分	副校(園)長	主幹教諭	教 諭	助教諭	養護教諭	栄養教諭	栄養士·調理士	合 計
	附属	幼 稚 園			((1))					((1))
			1		5		1			7
	附属桃	山小学校			((2))					((2))
B付			1	1	14		1	1	1	19
属	附属桃	山中学校			((2))					((2))
学			1	1	21		1			24
子   校	以屋方 #	『小中学校			((1)) 〈1〉					((1)) 〈1〉
部	門馬尔包	的小子子仪	2	2	46		2		2	54
마	附属高	5 等 学 校			((3)) (3)					((3)) (3)
			1	1	32		1			35
	附属特別	則支援学校	1		((1)) 〈2〉 28		1	1		((1)) (2) 31
	合	āt	·		((10)) 〈6〉		•			((10)) 〈6〉
			7	5	146		7	2	3	170

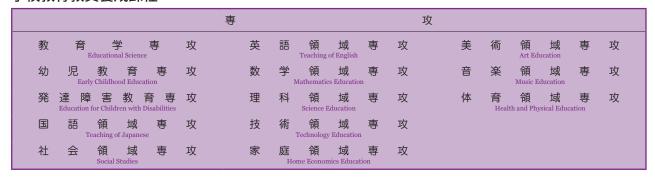
注:(( )) は臨時的雇用数で外数。 〈 〉は再雇用数で内数。 ※上記職員数には、休職・育児休業・長期研修中の者を含む。

## ∽課 程∽

## A 教育学部

教養高き人としての知識、情操、態度を育成し、学校教育、社会教育、生涯学習等の広い教育分野で地域社会に貢献できる人材を養成することを目指しています。

#### 学校教育教員養成課程



## B 大学院

#### 教育学研究科 (修士課程)

本研究科は、学部における教養あるいは教職経験の上に、広い視野に立って精深な学識を授け教育関係諸科学の研究を深めることで、教育の理論と実践に関する優れた能力を持つ教育者の養成を目指しています。

専攻	- 廖
学 校 教 育 専 攻	学校教育専修
School Education	School Education
障害児教育専攻	障害児教育専修
Education for Children with Disabilities	Education for Children with Disabilities
教科教育専攻 Subject Education	国語教育專修 Teaching of Japanese 社会科教育專修 Social Studies  数学教育專修 Mathematical Studies  理科教育專修 Science Education  古

#### 連合教職実践研究科(専門職学位課程)

本研究科は、学部における教員養成教育と現職教員の教職経験の上に、教育の理論と教職実践を深く追求させることにより、教職に関する高度専門的な知識と実践的指導力を統合的に有する教員の養成を目指しています。

専攻	コ ー ス
	授業力高度化コース Advanced Classroom Instruction Program
教 職 実 践 専 攻 Specialty of Professional Teacher Education	生 徒 指 導 力 高 度 化 コ ー ス Advanced Student Guidance Program
	学 校 経 営 力 高 度 化 コ ー ス Advanced School Administration Program

## C 専攻科(1年課程)

#### 特別支援教育特別専攻科

本専攻科は、主に現職教員を対象に、発達障害学に関する精深な事項を教授し、その研究を指導して資質の向上を図ることを目的としています。



# ∞ 学生数 ∞

A 教育学部 (H29.5.1)

課	<del></del> 程	 入学定員	身	61年)	· 欠	角	[2年]	欠	第	3年》	欠	爭	94年》	欠		合計	
市木	任	八子疋貝	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学校教育教員養成課程	300											(2)	(2)		(2)	(2)	
子似纵自纵	<b>具食以</b> 体性	300	135	189	324	150	182	332	139	182	321	166	204	370	590	757	1,347

注:()は、外数で外国人留学生を示す。

## B 大学院教育学研究科 (修士課程)

(H29.5.1)

	事 修	入学定員	Š	第 1 年次	7	į	第2年次	7	1	合 if	+
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	子 16	八子疋貝	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学校教育専攻	学校教育専修	17	5	10	15	9	(1) 13	(1) 22	14	(1) 23	(1) 37
障害児教育専攻	障害児教育専修	5	(1)	1	(1) 2	0	6	6	(1) 1	7	(1) 8
	国語教育専修		2	(1)	(1) 5	0	1	1	2	(1)	(1) 6
	社会科教育専修		1	2	3	3	3	6	4	5	9
	数学教育専修		4	0	4	7	1	8	11	1	12
	理科教育専修	35	6	3	9	12	2	14	18	5	23
教 科 教 育 専 攻	音楽教育専修		0	1	1	1	2	3	1	3	4
	美術教育専修		1	4	5	0	6	6	1	10	11
	保健体育専修		2	4	6	1	2	3	3	6	9
	技術教育専修		2	2	4	4	2	6	6	4	10
	家政教育専修		0	2	2	1	2	3	1	4	5
	英語教育専修		4	2	6	3	1	4	7	3	10
合	dž	57	(1) 28	(1) 34	(2) 62	41	(1) 41	(1) 82	(1) 69	(2) 75	(3) 144

注:()は、外数で外国人留学生を示す。

## **C** 大学院連合教職実践研究科(専門職学位課程)

(H29.5.1)

専 攻	コース	入学定員		第1年次	?		第2年次	?	승 計		
専 攻 	] - ^	八子疋貝	男	女	計	男	女	計	男	女	計
	授業力高度化コース	20	15	13	28	16	16	32	31	29	60
   教職実践専攻	生徒指導力高度化コース	20	14	10	24	13	8	21	27	18	45
	学校経営力高度化コース	20	6	2	8	1	0	1	7	2	9
	合 計	60	35	25	60	30	24	54	65	49	114

注:学校経営力高度化コースについては大半が1年で修了する短期履修制度を利用。

## D 特別支援教育特別専攻科

(H29.5.1)

ı	事 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1 学中昌	在籍者				
ı	専攻	人学定員 	男	女	計		
	特別支援教育専攻	35	4	16	20		

## E 研究生・科目等履修生等

(H29.5.1)

区分			
	男	女	計
研 究 生	7(1)	4(12)	11 (13)
科目等履修生	16	15	31
特別聴講学生	21 (5)	28(2)	49(7)
特別研究学生	0	0	0
合 計	44(6)	47 (14)	91 (20)

注:人数は教育学部、大学院教育学研究科、大学院連合教職実践研究科の合算である。 注:( )は、外数で外国人留学生を示す。

# ∞ 平成29年度入学者選抜実施状況 ∞

A 教育学部 (H29.5.1)

入学者選抜の種類	入学定員	募集人員	志	願者	数	受	験者	数	合	格者	数	入	学 者	数
入子白迭扱の程規	八子疋貝	夯禾八貝	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
一般入試(前期日程)		165	186	213	399	176	204	380	91	92	183	88	87	175
一般入試(後期日程)	300	32	105	69	174	38	40	78	17	15	32	16	14	30
推薦入試	300	83	85	189	274	80	175	255	27	71	98	27	71	98
地域指定推薦入試		20	17	40	57	17	40	57	4	17	21	4	17	21
合 計	300	300	393	511	904	311	459	770	139	195	334	135	189	324
編入学		若干名	12	23	35	10	22	32	0	5	5	0	5	5

## B 大学院教育学研究科(修士課程)

(H29.5.1)

専 攻	入学定員	志	願者	数	受	験者	数	合	格者	数	入	学 者	数
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	八子疋貝	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
学 校 教 育 専 攻	17	20	(1) 51	(1) 71	18	46	64	7	17	24	5	10	15
障害児教育専攻	5	(1)	2	(1) 3	(1) 1	2	(1) 3	(1)	1	(1) 2	(1) 1	1	(1) 2
教科教育専攻	35	32	(1) 30	(1) 62	31	(1) 28	(1) 59	26	(1) 25	(1) 51	22	(1) 23	(1) 45
合 計	57	(1) 53	(2) 83	(3) 136	(1) 50	(1) 76	(2) 126	(1) 34	(1) 43	(2) 77	(1) 28	(1) 34	(2) 62

注:()は、外国人留学生特別選抜を外数で示す。

## **C** 大学院連合教職実践研究科(専門職学位課程)

(H29.5.1)

- 専 攻	入学定員	志	願者	数	受	験者	数	合	格者	数	入	学者	数
·····································	入子止貝 	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
教 職 実 践 専 攻	60	41	28	69	39	28	67	38	28	66	35	25	60

## D 特別支援教育特別専攻科

(H29.5.1)

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	入学定員	志	願者	数	受	験者	数	合	格者	数	入	学者	数
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	八子疋貝	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
特別支援教育専攻	35	6	20	26	6	20	26	5	17	22	4	15	19

# ∞ 卒業者数及び修了者数 ∞

## A 教育学部

Image: Control of the	分		年 度	S25~H23	24	25	26	27	28	合 計
			学 士(教育学)	5,956	347	326	311	316	309	7,565
			学 士(教養学)	2,281	0	1	-	-	-	2,282
学	部	4年課程	教育学士	13,568	-	-	-	-	-	13,568
<del>  3</del>	ට්		学 芸 学 士	90	-	-	-	-	-	90
			合 計	21,895	347	327	311	316	309	23,505
		2 年	課程	1,040	-	-	-	-	-	1,040
専	<i>T</i> /7 €3	教 育	専 攻 科	412	-	-	-	-	-	412
<del>り</del>	攻科	特別支援教育特別専攻科		629	24	21	20	16	20	730
その他の課程 重複障害教育教員養成課程			231	-	-	-	-	-	231	

## B 大学院教育学研究科(修士課程)

区 分 攻	事 修	H3~H23	24	25	26	27	28	合 計
学校教育専攻	学校教育専修	322	27	14	25	20	19	427
障害児教育専攻	障害児教育専修	77	4	5	5	3	3	97
	国語教育専修	54	3	3	3	3	4	70
	社会科教育専修	142	11	5	5	4	5	172
	数学教育専修	40	4	4	4	2	2	56
	理科教育専修	165	7	9	15	12	11	219
】 数科教育専攻	音楽教育専修	73	5	3	5	2	3	91
,	美術教育専修	108	8	8	5	6	6	141
	保健体育専修	86	5	1	6	4	3	105
	技術教育専修	51	2	3	3	2	0	61
	家政教育専修	43	2	0	4	3	0	52
	英語教育専修	60	6	3	5	4	1	79
合	計	1,221	84	58	85	65	57	1,570

## **C** 大学院連合教職実践研究科(専門職学位課程)

区 分 攻	年 度	H20~ H23	24	25	26	27	28	合 計
	授業力高度化コース	69	24	29	26	31	26	205
教 職 実 践 専 攻	生徒指導力高度化コース	63	31	28	26	24	25	197
	学校経営力高度化コース	39	9	12	10	11	9	90
合	計	171	64	69	62	66	60	492

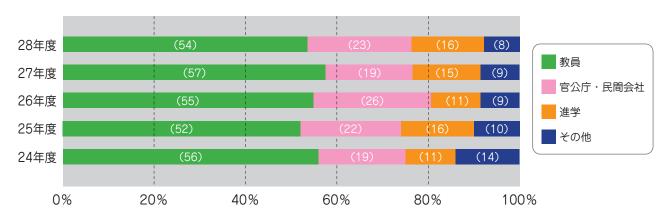
# ∞ 学部卒業者の就職状況 ∞

## A 教育学部

(H29.5.1)

							(1123.3.1)
	卒 業 年	度	24	25	26	27	28
	卒 業 者	数	347	327	311	316	309
		小 学 校	35	42	44	43	40
	京都府・市公立学校	中学校	21	10	19	18	7
		高等学校	18	11	7	7	6
教		小 学 校	44	39	38	54	53
員	国・私・他府県公立学校	中学校	36	28	25	17	22
		高等学校	22	23	21	23	18
	その他の	学校	19	17	16	18	20
	計		195	170	170	180	166
	官公庁・民間	会社	66	73	80	61	70
	合	dž	261	243	250	241	236
	大 学 院 進	学	38	53	34	48	49
	専門学校等への入学又は留	留学	7	5	6	5	5
	求    職	Ф	20	12	8	7	12
	採用試験準備・進学希望	<b>星等</b>	10	8	9	5	3
	その	11	6	4	10	4	
		卒業者       京都府・市公立学校       教園・私・他府県公立学校       その他の計       官公庁・民間       合大学院進       専門学校等への入学又は電水 職       採用試験準備・進学希望       採用試験準備・進学希望	交業者数       数         京都府・市公立学校       中学校         高等学校         小学校         市等学校         中学校         市等学校         市等学校         市場学校等への入学又は留学         東門学校等への入学又は留学         東門学校等への入学又は留学         東門学校等への入学又は留学         東門学校等への入学又は留学         東門学校等への入学又は留学         東門学校等への入学又は留学         東門学校等への入学又は留学	京都府・市公立学校       小学校       35         京都府・市公立学校       中学校       21         高等学校       18         小学校       44         中学校       36         高等学校       22         その他の学校       19         計       195         官公庁・民間会社       66         合       計       261         大学院進学       38         専門学校等への入学又は留学       7         求職       中       20         採用試験準備・進学希望等       10	卒業者数       347       327         水学校35       42         中学校21       10         高等学校18       11         小学校44       39         国・私・他府県公立学校中学校36       28         高等学校22       23         その他の学校19       17         計195       170         官公庁・民間会社66       73         合計261       243         大学院進学38       53         専門学校等への入学又は留学7       5         求職中20       12         採用試験準備・進学希望等10       8	卒業者数       347       327       311         京都府・市公立学校       中学校       35       42       44         中学校       21       10       19         高等学校       18       11       7         小学校       44       39       38         中学校       36       28       25         高等学校       22       23       21         その他の学校       19       17       16         計       195       170       170         官公庁・民間会社       66       73       80         合計       261       243       250         大学院進学       38       53       34         専門学校等への入学又は留学       7       5       6         求職中       20       12       8         採用試験準備・進学希望等       10       8       9	平業者数     347     327     311     316       東部府・市公立学校     中学校     35     42     44     43       中学校     21     10     19     18       高等学校     18     11     7     7       小学校     44     39     38     54       中学校     36     28     25     17       高等学校     22     23     21     23       その他の学校     19     17     16     18       計     195     170     170     180       官公庁・民間会社     66     73     80     61       合計     261     243     250     241       大学院進学     38     53     34     48       専門学校等への入学又は留学     7     5     6     5       採用試験準備・進学希望等     10     8     9     5

#### 学部卒業者の就職状況の推移



# ∞ 奨学生数及び貸与状況 ∞

(H29.3.1)

区	分		教	育 学	部			専	攻	科			大	学	院	
年	度	24	25	26	27	28	24	25	26	27	28	24	25	26	27	28
· 学 <u>·</u>	生 数 (A)	1,381	1,364	1,342	1,337	1,343	24	22	21	18	22	303	307	288	277	259
日本学生	第一種奨学生	216	179	227	240	267	0	1	0	0	0	77	76	67	58	48
支援機構	第二種奨学生	305	247	253	236	240	0	1	0	1	0	15	7	7	5	2
	の 他 の 学 生	12	9	10	11	15	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0
	≣† (B)	533	435	490	487	522	0	2	0	1	0	92	83	76	64	50
学生に対する比率(B/A)%		39	32	37	36	39	0	9	0	6	0	30	27	26	23	19

# ∞ 国際交流 ∞

## A 外国人留学生数 Number of Foreign Students

(H29.5.1) as of May 1,2017

区分	大学 Graduate			学部 Undergradu			研究生等	科目等履修生	合 計
Classification	1回生 1st year	2回生 2nd year	1回生 1st year	2回生 2nd year	3回生 3rd year	4回生 4th year	Research Students	Credit Auditors	Total
中 China	2	1				2	3		8
韓 Korea							(6) 7		(6) 7
タ Thailand							(1) 5		(1) 5
インド India							(1) 1		(1) 1
ベトナム Vietnam							(2) 2		(2) 2
ニュージーランド New Zealand							(1) 1		(1) 1
ド イ ツ Germany							1		1
合 計 Total	2	1	0	0	0	2	(11) 20	0	(1) 25

注:( ) は、内数で国費外国人留学生を示す。NOTE: ( )indicates the number of the foreign students who were granted governmental fellowship.

## B 海外派遣留学生数 Number of the Students Studying Abroad

(平成28年度) FY2016

区 分 Classification	派遣国名 Countries	大学名 Universities	派遣学生数 Number of Students Studying Abroad
交換留学生	カ ナ ダ Canada	ケベック大学モントリオール校 University of Quebec in Montreal	3
Exchange Student	ド イ ツ Germany	エアランゲン・ニュルンベルク大学人文学部及び神学科群 The Faculty of Philosophy and School of Theology, Erlangen Nurnberg University	2

# C 大学間交流協定締結一覧 Sister Relationships with Other Universities

国 名 Countries	締結 大 学 名 Universities	締 結 年 月 日 Dates of Agreement
中	上 海 師 範 大 学	平成5年1月27日
Elima	Shanghai Normal University	January 27,1993
タイ	タ イ 国 <b>4 0</b> 地 域 総 合 大 学 40 Rajabhat University in Thailand	平成7年8月25日 August 25,1995
Thailand	チュラロンコン大学教育学部 The Faculty of Education,Chulalonkorn University in Thailand	平成 14 年 11 月 19 日 November 19,2002
オーストラリア	南 オ ー ス ト ラ リ ア 大 学	平成9年9月4日
Australia	University of South Australia	September 4,1997
韓	春 川 教 育 大 学 校	平成 16 年 7 月 28 日
Korea	Chuncheon National University of Education	July 28,2004
カ ナ ダ	ケベック大学モントリオール校	平成 17 年 4 月 19 日
Canada	University of Quebec in Montreal	April 19,2005
ド イ ツ	エアランゲン・ニュルンベルク大学人文学部及び神学科群	平成 19 年 2 月 15 日
Germany	The Faculty of Philosophy and School of Theology, Erlangen-Nurnberg University	February 15,2007

## D 国際交流会館 International House



国際交流会館は、本学の国際交流の促進のために平成 10 年に設置されました。外国人留学生・外国人研究者の居室 46 室(単身室 36 室、夫婦室 6 室、家族室 4 室) や研修室を備え、国際交流に関する事業に使われています。また、会館の運営を助けるため「フェロー」と呼ばれる日本人学生も居住しています。

## ∞ 厚生施設 ∞

#### 保健管理センター



保健管理センターは、本学の健康管理に関する専門的業務として、 学生並びに教職員の健康の保持増進を目的に、健康診断や応急処置、 こころやからだの健康相談等の業務を行っています。また、センター 内には、男女別の休養室やリラクゼーションルームを設けています。

大学会館



大学会館には、食堂・喫茶・購買・談話室が設けられているほか、 クラブ・サークル等で使用できる施設として、大集会室、中集会室、 集会室5室、共通演習室5室、和室があります。また、南棟の玄関に はスロープを設置し、1階には授乳やおむつ換え等のできる授乳室が 整備され、車椅子で移動される方や乳児と一緒に来学された方にも配 慮した快適な空間となっています。

学生寮



学生寮は、明治32年に現在の附属京都小中学校付近(京都市北区 小山南大野町)に建てられた京都府師範学校寄宿舎「紫郊寮」が母体 となっています。深草寮(男子寮)は平成22年に、露草寮(女子寮) は平成27年に改修工事が行われ、居室はユニットバスとミニキッチ ンを備えた個室となりました。学生の自治組織により管理運営されて おり、多くの伝統的な行事が毎年催されています。 (H29.5.1)

		深草寮(男子)	露草寮(女子)
5	定員	103	80
:	現員	75	59

## ∞ 研究施設等 ∞

## 附属教育実践センター機構

次の5つのセンターを統括し、各センター が行う教育実践に関する研究・指導並びに 事業の連携と調整を行います。

# 教育支援 センター 環境教育 実践センター 機構 特別支援 教育臨床実践 センター

#### 各センターの目的と研究内容

#### 教育支援センター

教育実践に関する支援並びに連携に関する事業 を推進する

- ◆附属学校園並びに地域の学校園との連携による教育研究の支援及び教員の資質向上の支援
- ◆実地教育に関する開発、企画、評価と学生の支援
- ◆モラル・人権意識向上に資する教育の実践と研究
- ◆学生の就職・キャリア形成に関する支援と研究

#### 環境教育実践センター

環境教育に関する専門的な研究教育を行い、かつ学生等の実験実習の場としての利用や公開講座等の広く一般の利用に供し、もって環境教育の推進を図る

- ◆教育・研究・方法と理念の開発、教材の開発、実践的 指導者の育成
- ◆公開講座、施設開放の実施

#### 特別支援教育臨床実践センター

特別支援教育に関する臨床的研究及び指導方法 の開発等を行い、教育相談や研修活動を通して 地域社会に貢献する

- ◆特別支援に関する実践的教育の推進
- ◆特別支援教育に関する学内及び地域教育組織との共同 事業
- ◆発達・教育相談に関する研究及び事業
- ◆特別支援教育に関する地域への教育支援

#### 教育臨床心理実践センター

教育臨床心理に関する教育・研究・地域支援並 びに関連する事業を推進する

- ◆教育臨床心理に関する教育・調査・研究・開発
- ◆教育臨床心理に関する附属学校園を含む地域への支援

#### 教職キャリア高度化センター

京都府・京都市教育委員会及び公立学校等との協働により、大学の人的資源と学術的成果を活用して、義務教育諸学校等教員の初任期から教職キャリアを積む過程全体の支援並びに支援に関する研究開発を行い、その方法と成果を大阪教育大学及び奈良教育大学と共有して、教員養成・研修の高度化を推進する

- ◆初任期教員の支援と職能向上支援
- ◆初任期課題対応プログラムの開発と実施
- ◆今日的課題対応プログラム、教科指導、学校経営等の プログラム開発と実施
- ◆探究的学習の実践を高めるための学修の場の構築

各センターの詳細情報については、附属教育実践センター機構概要をご覧ください。

#### 附属図書館



附属図書館は大学中央の広場横に位置し、授業期には平日夜21時、土曜17時まで開館しています。教育学の分野を中心とした蔵書は、図書約43万冊と雑誌約6,500タイトルのほか、電子ジャーナルや各種データベースなどを揃え、さらに大学図書館にはめずらしい児童書など、日々の学習・研究から実習の準備などに利用できるものになっています。館内には、280席以上の閲覧席があるほか、情報処理センターの端末やグループでの学習に使える設備を備えたラーニングコモンズ、一人で集中できる環境の個人学習室など、多様な学習環境を備えています。さらに学習・研究成果の発表・展示ができる企画展示室、飲食やお喋りをしながら休憩できるリフレッシュラウンジなどを設けています。

#### 教育資料館(まなびの森ミュージアム)

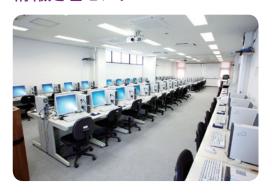


教育資料館(まなびの森ミュージアム)は、旧陸軍第 19 旅団司令 部を改装した施設です。

1876 (明治 9) 年に京都府師範学校として創立以来の教材、教具、作品などを整理して学術研究や学校教育、社会教育に役立てるため、2011 (平成 23) 年に開館しました。

所蔵品は、200点以上の理化学実験器具、動植物や岩石の標本、古代エジプトのミイラの一部、絵画、書、彫刻、楽器、歴史文書、考古品などで、常設展示しています。

#### 情報処理センター



情報処理センターは、各種サーバとクライアントコンピュータを備えた学内共同利用の特別施設であり、教育研究のための多様な情報処理を支援するとともに学生に対する基礎的な情報処理教育の場を提供しています。電子メールやインターネットなどができる学内ネットワークの中核となり、さらに国内外の学術情報ネットワークに参画して研究者が必要とする学術情報を迅速に提供できる情報流通システムの学内拠点として活動しています。

## ∞ 附属学校園 ∞

#### 附属幼稚園



『自分で考え行動するこども、想像豊かに遊ぶこども、人・ものと共に生活を創るこども』を教育目標として、教職員全員でティーム保育に取り組み、子どもたちを育てています。子どもが、子ども時代を子どもらしく過ごせることを願いながら、自分でしたいことを見つけて遊びや生活に取り組むことで自立を図り、友だちと力を合わせて遊びや生活を創っていく中で自律の大切さを身につけてほしいと考えています。また、生き物の継続飼育や栽培活動を保育の中に積極的に取り入れ、子どもが五感を通して直接体験することを大切にしています。そうした体験や経験の連続性が、豊かな学びにつながる保育を創造します。幼小中の学びの連続性を視野に入れ、大学との連携も図りながら、幼児教育の理論や指導方法の実証的な研究、研修を行っています。

学級数	3歳児	4 歳児	5歳児	計
5	20	54	55	129

#### 附属桃山小学校



本校は、明治 41 年に設置された京都府女子師範学校代用附属小学校を前身とし、100 年以上の歴史と伝統を培ってまいりました。移りゆく時代の中にあっても、常に学びの出発点や着想点を子どもに置き、「子どもの側から教育を発想する」ことを基本指針に据え、全ての教科・領域において「子ども中心主義」の理念を貫いた教育活動を行っています。

また、文部科学省から指定を受けた最先端の教育研究(「1年生からの外国語教育研究」、「幼・小・中の三校園連携教育研究」、「ICTを活用した情報教育研究」、「伝統・文化教育研究」等)にも積極的に取り組んでいます。

今後も、「明日の文化を担う『ひと』の育成」を目指して、本校で学んだ子どもたちが大きく羽ばたけるよう、教育活動に全力で取り組んでまいります。

区分	学級数	1 学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
普通学級	12	68	68	69	72	70	69	416

#### 附属桃山中学校



本校では、「豊かな感性、輝く個性、拡がる共生」を合い言葉に、平常授業の充実に努め、多様で多彩な学習活動を通して、確かな学ぶ力と豊かな人間性の育成を目指しています。同時に、現代社会の激しい変化に対応し、その中で活躍していくために必要な資質・能力が育まれる学校づくりを目指しています。

また、一般学級とともに、帰国生徒教育学級を設置し、帰国生に対し、 滞在国との教育事情の違いによって、適応教育はもちろん、特性伸長教育、一般生との相互交流教育等の教育実践を行っています。そして、学校を挙げて国際教育の推進に取り組んでいます。

隣接する附属幼稚園・附属桃山小学校とは、平成7年度より幼小中連携教育研究を行っています。

	区	分		学級数	1 学年	2学年	3学年	計
<u> </u>	般	学	級	9	120	114	118	352
帰[	国生徒	教育	学級	3	11	10	15	36
	≣†			12	131	124	133	388

#### 附属京都小中学校



本校は、平成15年度より小中一貫教育システム開発研究に取り組み、平成22年度より4-3-2区分制の小中一貫教育学校として発足、平成29年度より「義務教育学校」へ移行しました。「未来の社会に躍動する人材の育成」をテーマに、今後益々グローバル化、多様化する社会の変化に対応し、将来の社会に活きる資質・能力を義務教育9か年で効果的に育成する学校として、全国の小中一貫教育学校や義務教育学校のフロントランナーとしての成果を発信しています。本学と協働して、これからの時代を見据えた先導的な実証的教育研究に取り組み、また、教育実習指導等を通してこれからの時代を担う教員を養成しています。

区分	学級数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	7学年	8学年	9学年	計
通常学級	27	96	96	95	93	94	92	85	89	90	830
特別支援学級	6	2	2	2	3	3	3	6	5	6	32
計	33	98	98	97	96	97	95	91	94	96	862

#### 附属高等学校



校章の円形に配した6個の橘の実は、本校の教育方針である、民主・文化・平和・健康な身体・高い知性・豊かな情操を表します。先導的教育研究と実践を通し、生徒ひとりひとりに温かいまなざしと熱心な指導を注ぐことで、調和のとれた人格の形成と、歴史を踏まえ社会の抱える課題に挑む気概を持った人材の育成を目指しています。

そのことは、校歌の次のような一節に象徴されます。"この混沌の人の世に 明りをつける勇気に生きる"

平成 14 年度から文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、将来の科学技術の発展を担う人材の育成を目標に、従来の高校の枠組を超えた教育・研究活動を実践しています。

区	分	学級数	1 学年	2学年	3学年	計
全日制	普通科	15	186	199	200	585

## 附属特別支援学校



本校は、①小学部・中学部・高等部を通して、知的障がいのある子どもたちの自立を目指す一貫教育を行う、②学部・専攻科の障がい児教育実習や介護等体験を実施・指導する、③大学との研究協力をすすめ、教育理論の実証と創造的実践の成果を発表し、教育実践における先導的役割を担う、ことを使命としています。

区分	学級数	1 学年	2学年	3学年	4 学年	5学年	6学年	計
小学部	3	3	3	3	3	3	3	18
中学部	3	8	8	8	-	-	-	24
高等部	3	10	9	9	-	-	-	28
計	9	-	-	-	-	-	-	70

# ∞ 地域貢献 ∞

## 現職教員等対象の講座・講習

(平成 28 年度)

講習名	講座数(受講者(延べ人数))
教員免許状更新講習	必修3講習(279名) 選択必修5講習(248名) 選択20講習(617名)
教員免許法認定講習	11 講座 (639 名)
学校図書館司書教諭講習	2科目 (107名)
京都府総合教育センター大学連携講座	1講座 (14名)
幼稚園免許特例講座	5科目 (565名)
学校経営に関する講座	13 講座 (759名)
特別支援教育に関する講座	14講座 (332名)
小学校英語スキルアップ講座	2講座 (49名)

## 公開講座

(平成 28 年度)

講座名	受講者数
幼稚園の自然観察・栽培・飼育実技講座	15名
野菜や草花を栽培して育てる楽しみや不思議さ、大切さを学習する体験教室	47名
シリーズ環境を考える-自然とともに生きる-	27名
基礎から学ぶ地球科学	14名
楽しい塑造教室-頭像とテラコッタ作り-	37名
初心者のためのロボットづくり教室	29名
オペラの魅力 バロック〜古典派、古典派〜ロマン派、ロマン派〜近代	41名
印花表現の可能性を探る	20名

## 地域・社会交流事業

(平成 28 年度)

事業名	来場者数
京都教育大学公開講演会(年3回)	222名
教科書展	350名
うたとおはなしの会(年2回)	396名
立体作品展	97名
環境教育実践センター公開講演会(年4回)	127名

# ∞ 平成28年度財務状況 ∞

## A 貸借対照表(H29.3.31)

単位(千円)

資 産 の	部	負 債 の	部
流動資産		流動負債	
現金及び預金	826,977	運営費交付金債務	50,366
未収入金	23,120	寄附金債務	191,681
たな卸資産	951	預り金	134,650
その他の流動資産	40,351	1年以内返済予定長期借入金	9,996
流動資産計	891,399	未払金	551,047
		短期リース債務	88,347
固定資産		その他	360
土地	28,268,535	流動負債計	1,026,447
建物等	7,209,692		
備品	283,201	固定負債	
図書·美術品	1,072,744	資産見返負債	2,088,376
ソフトウェア等	34,788	長期借入金	30,032
長期投資資金	80,047	長期リース債務	27,179
その他の固定資産	33	固定負債計	2,145,587
固定資産計	36,949,040	負債合計	3,172,033
		純 資 産 (	の部
		資本金	35,509,389
		資本剰余金	△ 1,040,542
		利益剰余金	
		積立金等	66,211
		当期未処分利益	133,348
		純資産合計	34,668,406
資産合計	37,840,440	負債・純資産合計	37,840,440

<sup>※</sup>端数は四捨五入しているため、合計額は必ずしも一致しない。

## B 損益計算書(H28.4.1 ∼ H29.3.31)

単位(千円)

費用の	部	収 益 の	部
人件費	4,094,959	運営費交付金収益	3,757,154
教育研究等経費	900,607	学納金収益	1,059,028
受託研究等経費	14,920	外部資金収益	192,064
一般管理費	135,328	その他	232,201
経常費用合計	5,145,813	経常収益合計	5,240,447
臨時損失	0	臨時利益	0
費用合計	5,145,813	目的積立金取崩額	38,714
当期利益	133,348	収益 合計	5,279,161

## C キャッシュフロー計算書

## D 業務実施コスト計算書

単位(千円)

業務活動によるキャッシュフロー	370,246
投資活動によるキャッシュフロー	△ 80,433
財務活動によるキャッシュフロー	△ 117,349
資金増加額	172,464
資金期首残高	654,513
資金期末残高	826,977

単位(千円)

## **E** 決算報告書

単位(千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算一予算)
収入			
運営費交付金	3,729,131	3,757,277	28,146
施設整備費補助金	43,930	43,930	0
補助金等収入	19,596	36,290	16,694
大学改革支援·学位授与機構施設費交付金	22,000	18,000	△ 4,000
授業料、入学料及び検定料収入	1,078,903	1,104,143	25,240
雑収入	83,078	94,179	11,101
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	169,722	162,042	△ 7,680
目的積立金取崩	0	38,714	38,714
₹	5,146,360	5,254,576	108,216
支出			
教育研究経費	4,880,753	4,847,962	△ 32,791
施設整備費	65,930	61,930	△ 4,000
補助金等	19,596	36,290	16,694
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	169,722	149,268	△ 20,454
長期借入金償還金	10,359	10,359	0
<b>≣</b> †	5,146,360	5,105,809	△ 40,551
収入一支出	0	148,767	148,767

<sup>※</sup>端数は四捨五入しているため、合計額は必ずしも一致しない。

#### 収入決算

#### 産学連携等研究収入 及び寄附金収入等 雑収入 162,0 94.179 (3%) 162,042 目的積立金取崩 38,714 授業料、入学料(2%) (1%)及び検定料収入 1,104,143 (21%)大学改革支援·学位 授与機構施設費交付金 18,000 -(0%)補助金等収入-36,290 運営費交付金 **3,757,277** (71%) (1%) 施設整備費補助金 43,930 (1%)

## 支出決算



# F 外部資金獲得状況

単位(千円)

区  分	件 数	金額(間接経費含む)
科学研究費助成事業採択状況	106	72,139
科学研究費(新学術領域研究)	1	650
科学研究費(基盤研究(A))	3	624
科学研究費(基盤研究(B))	30	19,545
科学研究費(基盤研究(C))	54	38,175
科学研究費(挑戦的萌芽研究)	4	1,781
科学研究費(若手研究(B))	8	7,045
科学研究費(研究活動スタート支援)	1	1,300
科学研究費(奨励研究)	4	1,590
科学研究費(特別研究員奨励費)	1	1,430
奨学寄附金受入状況	95	146,896
大学教育研究振興助成	63	662
教員個人研究助成	3	3,403
附属学校教育研究助成	29	142,831
受託事業等受入状況	12	17,077
研究成果の社会還元・普及事業	2	400
学校図書館司書教諭講習	1	979
英語教育強化地域拠点事業	1	3,500
大学委託研修講座	1	66
我が国の伝統・文化教育の充実に係る調査研究事業	1	3,059
小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習の開発・実施事業	1	1,882
KYOTO 駅ナカアートプロジェクト	1	250
兵庫県立丹波並木道中央公園における篠山層群露頭調査・研究	1	460
戦略的創造研究推進事業(さきがけ)	1	5,980
学校教育における住教育支援のための教育教材の開発	1	200
辛味果実のない高品質な和歌山県オリジナルのシシトウガラシ品種の育成	1	300
運営費交付金・機能強化経費等	2	16,722
現代的教育課題に対応できる質の高い能力を持った教員の養成	1	8,933
教員養成のリージョナルセンターとしての現職教員の質の向上の推進	1	7,789

<sup>※</sup>端数は四捨五入しているため、合計額は必ずしも一致しない。

# G 土地及び建物

(m²)

区  分	土 地	建物
藤森学舎	140,724	40,498
第二学舎	9,244	-
環境教育実践センター	9,723	793
学生寮·国際交流会館	14,695	6,684
附属幼稚園	2,415	870
附属桃山小学校	12,296	5,771
附属桃山中学校	22,091	6,212
附属京都小中学校	37,460	13,692
附属高等学校	37,245	7,968
附属特別支援学校	34,083	4,327
外国人宿舎	245	139
藤森宿舎	5,042	3,575
山の家	2,314	318
승 計	327,577	90,847

# ∞ 役職員 ∞

学長	細川	友秀
理事・副学長(総務・企画担当)	岩村	伸一
理事・副学長(教務・学生指導担当)	太田	耕人
理事(労務・財務担当)・事務局長	江﨑	俊光
監事(植松・鈴木法律事務所)	鈴木	治一
監事(神戸大学名誉教授)	朴木	佳緒留
副学長(学生生活·国際交流担当)(併)	井谷	惠子
副学長(研究推進担当)(併) 附属図書館長(併)	村上	登司文
副学長(附属学校担当)(併) 附属学校部長(兼)	谷口	淳一
副学長(連合教職実践研究科担当)(併) 大学院連合教職実践研究科長(併)	浅井	和行
学長補佐 (併)	大澤	弘之
学長補佐 (併)	濵田	麻里
学長補佐(併)	相澤	伸幸

附属教育実践センター機構長(併)	植山 俊宏	
教育支援センター長(併)	関口 久志	
環境教育実践センター長(併)	武田 一郎	
特別支援教育臨床実践センター長(併)	佐藤 克敏	
教育臨床心理実践センター長(併)	本間 友巳	
教職キャリア高度化センター長(併)	植山 俊宏	
情報処理センター長(併)	田中 多佳子	
保健管理センター所長(併)	伊藤 悦子	
附属幼稚園長(併)	田中 里志	
附属桃山小学校長(併)	中 比呂志	
附属桃山中学校長(併)	榊原 禎宏	
附属京都小中学校長(併)	岡田 直樹	
附属高等学校長(併)	榊原 典子	
附属特別支援学校長(併)	相澤 雅文	

## 経営協議会

#### ■学内委員

学長	細川	友秀
理事・副学長(総務・企画担当)	岩村	伸一
理事(労務・財務担当)・事務局長	江﨑	俊光
副学長(研究推進担当)(併) 附属図書館長(併)	村上	登司文

#### ■学外委員

京都市教育委員会 教育次長	稲田	新吾
(株)京都銀行 取締役相談役	柏原	康夫
(株)京都新聞社 代表取締役社長 主筆	永島	宣彦
京都府教育庁 教育次長	小橋	秀生
帝塚山大学 特別客員教授	柳澤	保德

## 教育研究評議会

学長	細川	友秀
理事・副学長(総務・企画担当)	岩村	伸一
理事・副学長(教務・学生指導担当)	太田	耕人
副学長(学生生活·国際交流担当)(併)	井谷	惠子
副学長(研究推進担当)(併) 附属図書館長(併)	村上	登司文
附属教育実践センター機構長(併)	植山	俊宏
副学長(附属学校担当)(併) 附属学校部長(兼)	谷口	淳一
副学長(連合教職実践研究科担当)(併) 大学院連合教職実践研究科長(併)	浅井	和行
教育学部教授	伊藤	悦子
教育学部教授	香川	貴志
教育学部教授	武田	一郎
教育学部教授	村上	忠幸

## ∞沿革∞

京都教育大学は、昭和24年京都学芸大学として設置された。

その前身は明治9年創立の京都府師範学校までさかのぼることができる。大学の沿革は、以下のとおりである。

明治 9年5月 京都府師範学校授業開始・創立。 昭和 19 年 4 月 京都青年師範学校が設立された。その前身は大正 15 年創立の京都府実業補習学校教員養成所である。 昭和 24 年5月31日 京都学芸大学は、昭和 24 年法律第 150 号国立学校設置法により、京都師範学校、京都青年師範学校 を包括して、新制国立大学69大学の1つとして、設置された。 昭和 26 年 3 月 31 日 京都学芸大学に包括されていた京都師範学校、京都青年師範学校が、国立学校設置法の一部を改正する 法律(昭和26年法律84号)により、廃止された。なお、同法により附属小学校・中学校及び幼稚園 が設置された。 特別教科(図画・工作)教員養成課程が設置された。 昭和 27 年 4 月 19 日 昭和32年3月31日 桃山分校が廃止された。 昭和32年9月1日 大学は、京都市北区小山南大野町1番地から現在地に移転した。 昭和34年3月31日 高原分教場が廃止された。 昭和34年4月1日 特別教科(保健体育)教員養成課程が設置された。 学芸専攻科(教育学専攻)、(美術・工芸専攻)が設置された。 昭和35年4月1日 臨時養護学校教員養成課程(1年課程、半年課程)が設置された。 昭和38年4月1日 養護学校教員養成課程が設置された。 学芸専攻科(保健体育専攻)が設置された。 昭和40年4月1日 附属高等学校が設置された。 昭和41年4月 1日 国立学校設置法の一部を改正する法律(昭和41年法律48号)により、京都学芸大学は京都教育大学に、 学芸学部は教育学部に、学芸専攻科は教育専攻科に、それぞれ改められた。 昭和 42 年 4 月 1 日 幼稚園教員養成課程が設置された。 昭和 43 年 4 月 1 日 特別教科(理科)教員養成課程が設置された。 昭和44年4月1日 附属養護学校が設置された。 昭和 47 年 4 月 1 日 附属教育工学センターが設置された。 臨時養護学校教員養成課程(1年課程、半年課程)が廃止された。 昭和 49 年 3 月 31 日 昭和 49 年 4 月 1 日 特殊教育特別専攻科(精神薄弱教育専攻)が設置された。 保健管理センターが設置された。 昭和50年4月1日 昭和52年4月1日 重複障害教育教員養成課程(1年課程)が設置された。 附属教育工学センターは、附属教育実践研究指導センターに転換された。 昭和 55 年 4 月 1 日 昭和63年4月1日 総合科学課程が設置された。 平成 2 年 3 月 3 1 日 教育専攻科(教育学専攻)、(美術・工芸専攻)、(保健体育専攻)が廃止された。 平成 2 年4月 1 日 大学院教育学研究科(修士課程)(学校教育専攻)、(障害児教育専攻)、(教科教育専攻)が設置された。 平成 4年4月 1日 大学院教育学研究科教科教育専攻に国語教育専修、技術教育専修が増設された。 平成 4 年4月10日 附属環境教育実践センターが設置された。 平成 5 年 3 月 3 1 日 重複障害教育教員養成課程(1年課程)が廃止された。 平成 5 年4月 1日 特殊教育特別専攻科(重複障害教育専攻)が設置された。 情報処理センターが設置された。 平成 6年2月 1日 平成 6年4月 1日 大学院教育学研究科教科教育専攻に数学教育専修が増設された。 小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程、幼稚園教員養成課程、特別教科(理科) 平成 9 年 4 月 1 日 (美術·工芸)(保健体育) 教員養成課程、総合科学課程は、初等教育教員養成課程、中学校教員養成課程、 養護学校教員養成課程、総合科学課程に統合改組された。 平成 11 年 4 月 1 日 特殊教育特別専攻科(知的障害教育専攻)に名称変更された。 平成 12 年 4 月 1 日 初等教育教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程は学校教育教員養成課程に統合 改組された。 附属教育実践研究指導センターは、附属教育実践総合センターに転換された。 平成16年4月1日 国立大学法人京都教育大学が設立された。 平成 18 年 4 月 1 日 学校教育教員養成課程、総合科学課程は学校教育教員養成課程へ統合改組された。 平成19年4月1日 附属養護学校が附属特別支援学校に改称された。 特殊教育特別専攻科が特別支援教育特別専攻科に改称された。 平成 19 年 7 月 1 日 附属特別支援教育臨床実践センターが設置された。 平成 20 年 4 月 1 日 大学院連合教職実践研究科(専門職学位課程)が設置された。 平成22年8月1日 附属教育実践総合センターは教育支援センターと教育臨床心理実践センターに転換された。 附属環境教育実践センターは環境教育実践センターに改称された。 11 11 附属特別支援教育臨床実践センターは特別支援教育臨床実践センターに改称された。

4センターを統括する附属教育実践センター機構が設置された。

平成 29 年4月 1日 附属京都小学校、附属京都中学校は附属京都小中学校(義務教育学校)へ統合改組された。

平成23年8月1日 教育資料館が設置された。

**平成 25 年10月 1 日** 教職キャリア高度化センターが設置された。

24

[京都市上京区第11組中筋町 京都御苑内旧准后里御殿を 仮校舎として創立] [「師範学校令」公布により 学校名を改称]\*

[「師範教育令」により学校名を 改称]\*\*

#### 京都府師範学校 —

- ○明治9年(1876)5月授業開始•創立
- ○明治9年(1876)6月2日開校式
- ○明治12年(1879)12月2日 京都市上京区下立売釜座に新校舎 建築移転

[京都守護職御役会津藩御用屋敷址]

○自 明治15年度 至 明治20年度 京都府師範学校に女子在学

#### 園部分局

\_ 自 明治 9年6月 至 明治11年1月

#### 京都府尋常師範学校-

- ○明治19年(1886)4月10日改称\*
- ○明治21年(1888)3月 京都市上京区寺町荒神□松蔭町に 新校舎建築移転

#### ·京都府師範学校-

- ○明治31年(1898)4月1日改称\*\*
- ○明治32年(1899)3月 京都府愛宕郡上賀茂村字小山に 校舎新築移転
- ○大正7年(1918)4月 校地は京都市に編入され 京都市上京区小山南大野町1番地となる

#### ----(女 子 部)

- ○明治19年(1886) 1 月23日 京都府女学校師範学科を 京都府師範学校に移設
- ○明治20年(1887)7月13日 京都市上京区寺町荒神□上ルに 女子部校舎新築

#### -京都府女子師範学校-

- ○明治41年(1908)4月1日 京都府師範 学校から独立して設立 京都市吉田町仮校舎で授業
- ○明治42年(1909)3月 新校舎完成 京都府愛宕郡大宮村
- ○大正6年(1917)12月 校舎移築 京都市伏見区桃山町井伊掃部16番地
- ○京都府立桃山高等女学校

併 設

自 大正 7年4月 至 昭和18年3月

#### 京都府実業補習学校教員養成所一

○大正15年(1926)4月1日[京都府師範学校に併設]

#### - 京都府立青年学校教員養成所 -

○昭和10年(1935)4月1日 [「青年学校教員養成所令」公布]

#### 京都青年師範学校

- ○昭和19年(1944)4月1日 [官立移管に伴い改称]
- ○昭和20年(1945) [京都府船井郡高原村へ移転]

#### 上記の学校に併設された諸課程

- 京都府師範学校小学校本科正教員養成講習 (自 昭和元年度 至 昭和 2 年度)
- ·京都府傷夷軍人教員養成所 (自 昭和14年度 至 昭和17年度)
- ・京都府臨時教員養成講習所(女子の課程) (自 昭和17年度 至 昭和20年度 合計9期)
- 国民学校職員臨時講習 (自 昭和18年度 至 昭和19年度 合計 3 期)
- ·初等科訓導養成講習 (昭和19年度)
- 小学校教員特設臨時養成科 (昭和21年度)
- 小学校教員臨時養成科 (昭和25年度)
- ·京都府立青年学校教員養成所臨時養成所(商業) (自 昭和13年度 至 昭和14年度)
- · 京都府立青年学校教員養成所臨時養成所(工業) (昭和18年度)

[「師範教育令」改正(昭和18年3月6日)により 官立移管、学校名を改称]\*\*\*

(男子部)京都市上京区小山南大野町 1 番地 (女子部)京都市伏見区桃山町井伊掃部16番地 [「国立学校設置法」公布(昭和24年5月 31日)新制国立大学設置]\*\*\*\*

[「国立学校設置法」の一部改正により 大学名、学部名を改称]\*\*\*\*\* [「国立大学法人法」により 国立大学法人を設立] \*\*\*\*\*

#### 京都師範学校

○昭和18年(1943)4月1日改称\*\*\*

#### 男子部•女子部

- 自 昭和18年度
- 至 昭和22年度

#### 男女共学

自 昭和23年度 至 昭和24年度

#### -京都学芸大学-

- ○昭和24年(1949) 5月31日 設置\*\*\*\*
- ○昭和30年(1955) 9 月 1 日 京都市北行政区の発足により校地は 京都市北区小山南大野町 1 番地の地名表示 となった
- ○昭和32年(1957)9月1日 京都市伏見区深草藤森町1番地に校舎移転

#### 京都教育大学

○昭和41年(1966)4月1日改称\*\*\*\*\*

- 国立大学法人京都教育大学-

#### 京都学芸大学京都師範学校

- ○自 昭和24年(1949)5月31日
- ○至 昭和26年(1951)3月31日

#### -京都学芸大学京都青年師範学校

- ○自 昭和24年(1949)5月31日
- ○至 昭和26年(1951)3月31日

京都学芸大学の設置・発足に伴い、京都師範学校、及び 京都青年師範学校の名称を変更

#### 学芸学部——教育学部

○昭和24年 ○昭和41年 (1949) (1966)

5月31日設置

4月1日改称\*\*\*\*\*

#### - 桃山分校

- ○昭和24年(1949) 5月31日 設置
- ○昭和32年(1957) 3月31日 廃止

#### ·高原分教場

- 〇昭和24年(1949) 5月31日 設置
- ○昭和34年(1959)3月31日廃止

#### - 大学院教育学研究科 (修士課程)

○平成2年(1990)4月1日設置

#### 大学院連合教職実践研究科 (専門職学位課程)

○平成20年(2008)4月1日設置

#### 学芸専攻科 ———教育専攻科

〇昭和34年

○昭和41年 (1966)

(1959) 4月1日設置

4月1日改称\*\*\*\*\*

○平成2年 (1990) 3月31日廃止

#### 特殊教育 — 特別専攻科

- 特別支援教育 特別専攻科

○昭和49年 (1974) 4月1日設置 ○平成19年 (2007)

4月1日改称

- 京都府立青年学校工業教員臨時養成所(昭和19年度)
- · 臨時養護学校教員養成課程 (自 昭和35年度 至 昭和48年度)
- ・二年課程
- (自昭和24年度至昭和33年度)
- 重複障害教育教員養成課程(1年課程) (自 昭和52年度 至 平成4年度)

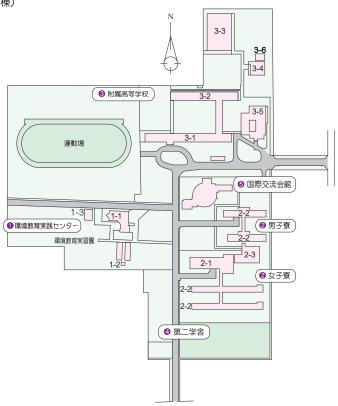
## ∞ 施設配置図 ∞

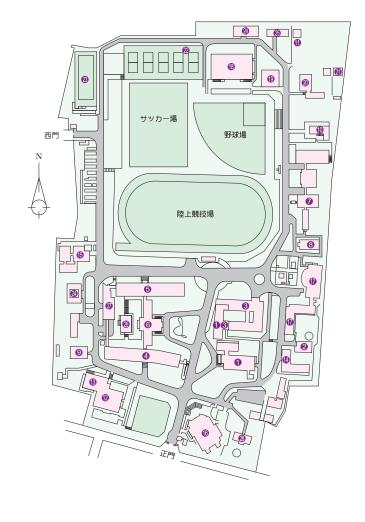
#### 藤森学舎

- 事務局
- ② 保健管理センター
- 3 附属図書館
- 4 1号館(A棟)
- 6 1号館(B棟)
- 6 1号館(C棟)
- 7 2号館 (D棟)
- 8 音楽演奏室
- 9 理科共通実験棟
- 美術基礎実習棟(E棟)
- 1 陶芸実習室
- 12 共通講義棟 (F棟)
- 13 特別支媛教育臨床実践センター
- 10 共通実習棟
- 教育支援センター・教育臨床心理実践センター・教職キャリア高度化センター
- 16 講 堂
- 10 大学会館
- 18体育館
- 19 武 道 場
- ◎ トレーニングセンター
- ② 弓道湯
- ❷ テニスコート
- ❸プ ー ル
- ② 課外活動施設
- ☎合 宿 所

23 教育資料館

- ∞ 情報処理センター





#### 第二学舎地区

- 環境教育実践センター
  - 1-1 管 理 棟
  - 1-2 温 室
  - 1-3 有機物リサイクルシステム実験実習棟
- ②学生寮
  - 2-1 管理室、食堂
  - 2-2 寮 室
  - 2-3 食 堂
- 3 附属高等学校
  - 3-1 管理室、普通教室
  - 3-2 特別教室
  - 3-3 体 育 館
  - 3-4 武 道 場
  - 3-5 メディアセンター 3-6 トレーニングルーム
- 4第二学舎
- **5** 国際交流会館

## 附属京都小中学校

- 1 附属京都小中学校 初等部
  - 1-1 管理室、教室
  - 1-2 多目的図書館棟
  - 1-3 芸 術 館
  - 1-4 体 育 館
  - 1-5 総 合 活 動 館
  - 1-6プ ル
- ② 附属京都小中学校 中・高等部
  - 2-1 管理室、普通教室
  - 2-2 特 別 教 室
  - 2-3 講堂、コンピューター教室
  - 2-4 体 育 館
  - 2-5 多 目 的 校 舎

#### 桃山地区附属学校

- 1 附属桃山小学校
  - 1-1 管理室、教室
  - 1-2 体 育 館
  - 1-3 プ ー ル
- 2 附属桃山中学校
  - 21管理室、教室
  - 2-2 帰国子女学級教室
  - 2-3 特 別 教 室
  - 2-4 体 育 館
  - 2-5 プ ー ル
- 3 附属幼稚園
  - 3-1 管 理 室
  - 3-2 保 育 室
  - 3-3 遊 戱 室

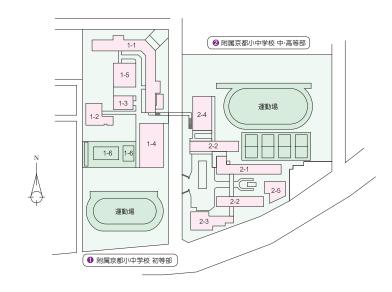
## 附属特別支援学校

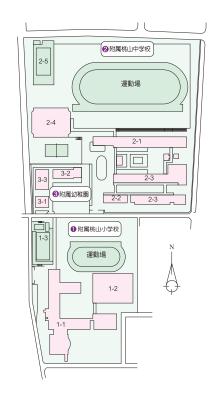
- 理 室
- ②小学部教室
- 3 中高等部教室
- O 1 10 0 0 0 2

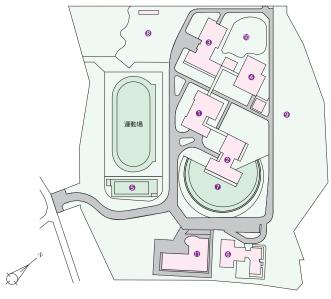
育 館

4 体

- **6**プ ル
- 6日常生活訓練棟
- 10 こ ど も 広 場
- ❸キャンプ広場
- 9 探 検 ゾ ー ン
- 自然観察園
- 10 特 別 教 室 棟







## ∞ アクセスマップ ∞



# ∞ 所在地 ∞

区分	所 在 地	電話番号
事 務 局 数		総務・企画課(075)644-8106 研究協力・附属学校支援課 (研究協力担当)(075)644-8242 (附属学校担当)(075)644-8391 会計課(075)644-8122 施設課(075)644-8135 教務・入試課 (教務担当)(075)644-8147 (入試担当)(075)644-8161 学生課(075)644-8165
附属図書館		(075) 644-8176
教 育 資 料 館	〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町 1 番地	(075) 644-8840 または (075) 644-8175
教育支援センター		(075) 644-8335
特別支援教育臨床実践センター		(075) 644-8354
教育臨床心理実践センター		(075) 644-8824
教職キャリア高度化センター		(075) 644-8335
情 報 処 理 セ ン タ ー		(075) 644-8340
保健管理センター		(075) 644-8170
環境教育実践センター	〒612-8431 京都市伏見区深草越後屋敷町 112 番地	(075) 641-3872
附属幼稚園	〒612-0071 京都市伏見区桃山井伊掃部東町 16 番地	(075) 601-0307
附属桃山小学校	〒612-0072 京都市伏見区桃山筒井伊賀東町 46 番地	(075) 611-0138
附属桃山中学校	〒612-0071 京都市伏見区桃山井伊掃部東町 16 番地	(075) 611-0264
附属京都小中学校	〒603-8164 京都市北区紫野東御所田町 37番地 (西エリア 初等部)	(075) 441-4166
(A) 元 元 四 小 元 文	〒603-8163 京都市北区小山南大野町 1 番地 (東エリア 中・高等部)	(075) 431-7131
附属高等学校	〒612-8431 京都市伏見区深草越後屋敷町 111 番地	(075) 641-9195
附属特別支援学校	〒612-0847 京都市伏見区深草大亀谷大山町 90 番地	(075) 641-3531
男子寮 女子寮(深草寮) (露草寮)	〒612-8431 京都市伏見区深草越後屋敷町 114 番地	(075) 641-7311 (深草寮) (075) 641-2193 (露草寮)
国際交流会館	1012 0701 水即用从无色/木平燃 仅连放型 114 田地	(075) 646-2431

# **KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION 2017**



編集·発行:総務·企画課 平成29年7月 〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地 http://www.kyokyo-u.ac.jp/

